

めざす子ども像

- ◆夢に向かって自ら学ぶ人
- ◆人とのつながり（絆）を大切にする人
- ◆誇りを持ってふるさとを語れる人

<現状を踏まえた願い>

- ◆学ぶことの楽しさや意義が実感できる学びの機会を創出したい。
- ◆自ら主体的に考え、行動する力を育成したい。
- ◆対話やコミュニケーションを通して、他者意識を育むとともに自他のよさを知り、認め合う雰囲気を醸成したい。
- ◆多様化、複雑化する教育課題の解決や授業改善に向けて日常的な職務を通した学びや、効果的な研修を通して職員の資質・能力の向上を図りたい。<職員>

【学校教育目標】

児童一人一人が、生涯にわたる学習の基盤を身に付け、心豊かな人間性と責任感を持ち、主体的に生きる力を育む。

Team Ujitawara 「全職員がすべての子どもの伴走者」

目標達成のために 「環境を通した教育を重視」

環境構成のポイント

物的・人的環境

3つの間

時間・空間・仲間

大切にしたい姿勢

すべての土台

すべての子どもの学びを保障

- ▶学校をすべての子どもにとってやりたいことのある場所に
- ▶「もっとやりたい」があふれる授業づくり
- ▶合理的配慮

相手意識の醸成、他者との協働、人権意識の高揚

- ▶人とのかかわりを学ぶ
- ▶かかわりのなかで自分や相手を知る

ICT機器の効果的な活用

- ▶子どもの意欲を高める手段
- ▶変容の可視化
- ▶可視化された情報と直接観察の両輪で

試行錯誤、失敗とやり直しができる環境

- ▶あきらめずにねばり強い取り組み力
- ▶やったら「できる・わかる」経験
- ▶Try&Error Error&Learn

直接体験、本物体験ができる環境構成

- ▶知的好奇心をくすぐる体験
- ▶探究的な活動

考える場面、自己決定・自己調整できる場面の設定

- ▶聞く力の育成
- ▶話し合い活動の充実

まなざしは、「たし算思考」：子どもの育ちと学びの一貫性・連続性
指導は、「始動」：しどろは、子どもが自ら動き始めてこそ
言葉かけは、「3つのH」：ほめる、はげます、広げる
気づきは、次の「One Action」へ

安全で安心できる環境（心の居場所・人との信頼関係）

環境を通して行う教育の考え方 ～子どもと環境の相互作用～

RV-PDCAのサイクル

